都立

善福寺公園

Tokyo Metropolitan
Zenpukuji Park

遅野井川親水施設

下の池

ボート

善福寺
桃井第四小学校
青梅街道方面
善福寺公園
南善福寺 行き
善福寺公園
荻窪駅北口 行き
青梅街道営業所 行き
遅野井川親水施設
美濃山橋
子供広場
子供広場
サービスセンター
ボート乗り場
渡戸橋
ゲートボール場
あそび場
上の池
下の池
あそび場
内田秀五郎翁の像
弁財天
遅の井の滝
吉祥寺方面

内田秀五郎翁の像

凡例

お手洗い / トイレ
だれでもトイレ（多機能トイレ）
ベビーベッド
水飲み場
AED 自動体外式除細動器（AED）
案内所
バリアフリールート

N

0 10 50 100m

発行 指定管理者 公益財団法人東京都公園協会 2021年11月
https://www.tokyo-park.or.jp

公園へ行こう！ 検索

都立

善福寺公園

Tokyo Metropolitan
Zenpukuji Park

公園について

善福寺公園の池はボート乗り場のある上の池と、ヨシやスイレンなどの生える下の池をあわせると、公園全域のほぼ半分近くを占めて、名実ともに善福寺公園の中心をなしています。

武蔵野三大湧水池である善福寺池

昔の池（善福寺池）は、武蔵野三大湧水池のひとつにも数えられ、その水量は豊富で江戸時代の水道・神田上水の補助水源として利用されたと言われています。その後、長い時を経て昭和 30 年代初めになると池水が涸渇し、今では地下水の汲上げに頼っています。

池の名称は昔、この近くに同名の寺があったことに由来すると言われています。

風致地区と風致協会

現在の善福寺公園周辺は、昭和 5 年（1930）に「善福寺風致地区」に指定されており、現在都内に 25 カ所ある風致地区の一つです。その中心部分を占めているのが善福寺公園です。

また昭和 9 年（1934）になると、地元関係者が「風致協会」を設立し、元井荻町長である内田秀五郎氏が会長に就任しました。内田氏は善福寺池周囲の自然の保存について有識者や地主に掛け合い、昭和 36 年（1961）6 月に都立公園として開園され、現在に至っています。

園内の野鳥たち

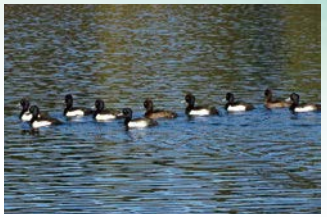
善福寺公園は「野鳥観察の聖地」でもあり、昭和 9 年（1934）に日本野鳥の会を設立した中西悟堂氏が善福寺池の近くに住み、池の生物観察を行った場所としても知られております。園内にはキンクロハジロやダイサギ、カワセミ等もよく見られ、年間約 50 種類もの野鳥が観察できます。

遅の井の滝

今から約 800 年の昔、源頼朝が奥州征伐の途中ここに宿陣した際に干ばつのため自ら飲み水を求め、弓筈で土を掘ること七度、「今や遅し」と水の出を待ったことから「遅の井」と命名されたといいます。現在は泉が涸れておりますが、井戸を掘り、ポンプで地下水をくみ上げ、遅の井の滝として復元しています。

上の池

カワセミ（留鳥）



キンクロハジロ（冬鳥）

ダイサギとアオサギ（留鳥）

遅の井の滝

公園基本情報

開園年月日	昭和 36 年（1961）6 月 16 日
開園面積	80,264.47 ㎡
所在地	杉並区善福寺二・三丁目
交通	①ＪＲ中央線「荻窪」北口から関東バス南善福寺行「善福寺公園」下車、②ＪＲ中央線「西荻窪」から関東バスまたは西武バス上石神井駅行（大泉学園行もあり）「善福寺」下車徒歩 5 分、③西武新宿線「上石神井」から関東バスまたは西武バス西荻窪行「善福寺」下車徒歩 5 分
主な施設	ボート場、ゲートボール場、子供広場　など
Twitter	@Parks_Zenpukuji

問合せ

善福寺公園サービスセンター（当公園に関するお問合せ）
☎ 03-3396-0825　〒167-0041 杉並区善福寺 3-9-10
（8：30 ～ 17：30　※年末年始は除く）

東京都公園協会 本社（協会の事業全般に関するお問合せ）
☎ 03-3232-3011（8：30 ～ 17：30　※土日祝日、年末年始は除く）